

PET/CT (FDG を使った) による癌の画像診断

(A)・(B) の検査に大別されます。

(A) ガンの発見を目的とする健康診断検査。

(B) ガンがすでに判明されている患者様、手術等のガン治療後の患者様における全身転移や再発の有無の検査。

(A) については7~18万円の自費検査です。

PET 単独でのガン発見率にはさまざまな意見がございますが、PET/CT・MR・US など、先端検査の組み合わせ健診は通常の健診と比べますと、数倍から10倍近いガン発見率との報告が、国立ガン研究センターやPET健診の草分けである山中湖クリニックから発表されています。

(B) については再発転移の検索はPETの最も得意とするところです。

現在すでに150以上の病院医院からご依頼を受けております。

特に頸部から骨盤領域までの癌や転移の発見検査はCT検査とPET検査の併用が有用です。

大学病院他で手術などの治療が終了した後、特に検査を受けておられない方が多いのではないのでしょうか。

注射と30分前後のPET撮影(都合3時間程度)だけの非常に負担の少ない、苦しくない検査です。

しかも全身の検査となります。体の弱っている方や高齢の方にも無理なくお受けいただけます。

FDG-PET 適応疾患

てんかん若しくは虚血性心疾患の診断
悪性腫瘍(早期胃がんを除く)の病期診断又は転移・再発の診断

2010年より適応疾患が拡大されました。

保険適応の可否についてご不明の点がございましたら、お問い合わせ下さい。

FDG/PET 検査画像

